

日常を支える

上下水道のはなし

Vol.

02

発行：令和7年4月

瀬戸市役所水道課・下水道課

水道のはなし



水道のはなしVol.01では、水道の経営状況についてお伝えしました。

Vol.02では、みなさまからいただいている水道料金をどのように使っているかをお伝えします。

地震に強い水道管へ交換しています

能登半島地震で浄水場や水道管に大きな被害が出たことを受け、国主導のもと全国の水道事業者が重要施設（避難所や病院など）へ水を送るルートを優先して、地震に強い給水施設や水道管にする工事を重点的に進めていくこととなりました。

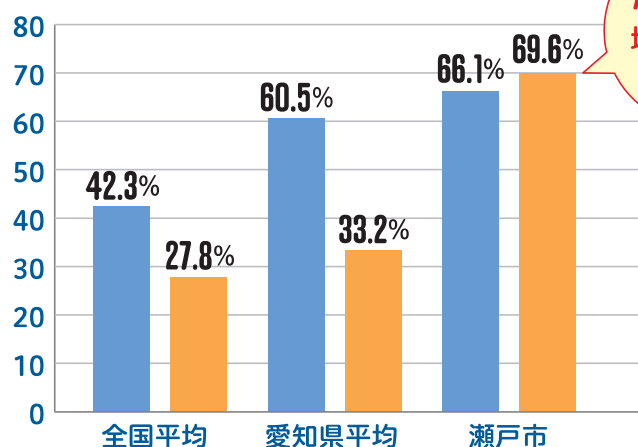
瀬戸市では、平成14年ごろより基幹管路（※右図参照）、平成23年ごろよりすべての水道管に地震に強い水道管を採用して更新をすすめています。そのため、全国平均や愛知県平均よりも地震に強い水道管が多くなっています。



？ 基幹管路とは ⇒ 導水管（水源地から源水を浄水場へ送る管）や配水本管（給水管を分岐しない配水管）のように、水道を支える重要な管路のことをいいます。



地震に強い水道管の割合



約7割が地震に強い水道管！

■ 基幹管路のみ ■ すべての水道管 （令和4年度水道統計より）

今後も、より一層地震に強い水道事業を目指して工事をすすめていきます。

水道料金全体のお金の使い道はウラ面へ

水道料金の使い道

主に3つの使い道
があります

施設更新費ってなに？

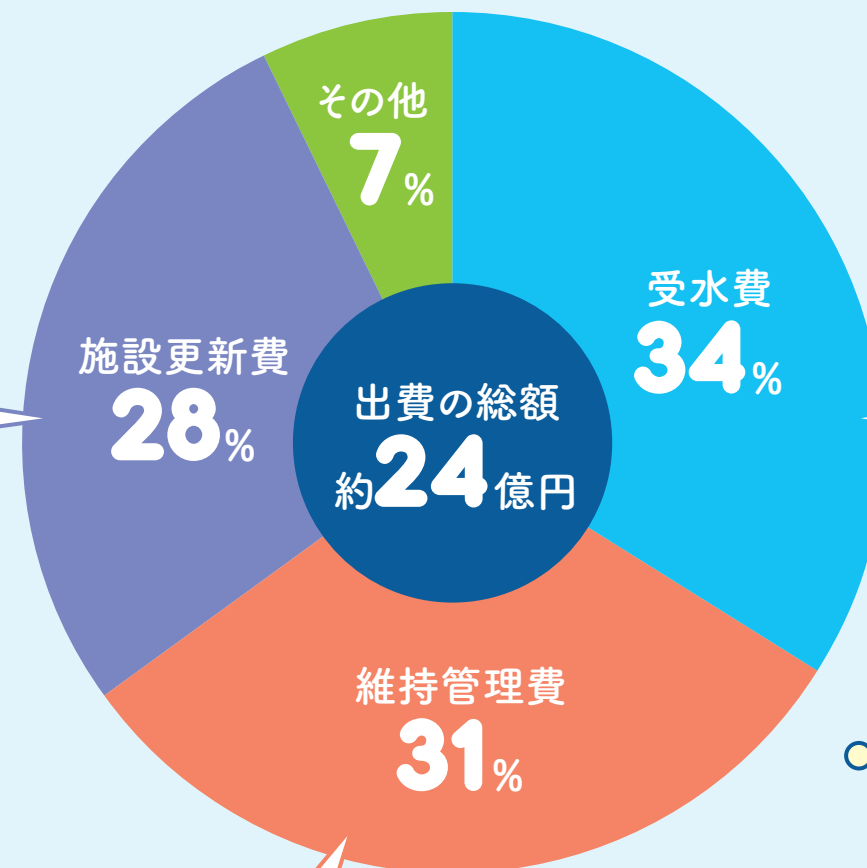
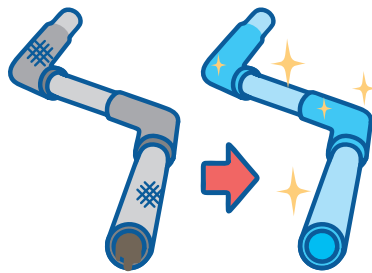
浄水場などの施設を建て替えたり、古い水道管を入れ替えるための費用です。工事をしたら長期間使用するため毎年の維持管理費とは分けて考えています。

主な工事等

◆ 浄水場などの施設の建て替え

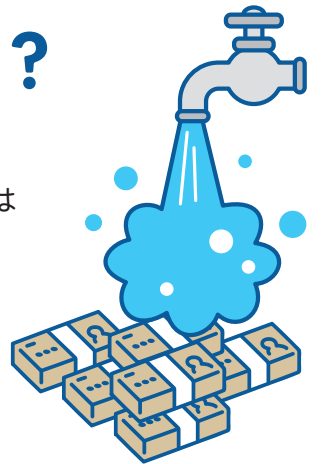


◆ 古くなった水道管の
入れ替え



受水費ってなに？

県から水を買うための費用です。市が配っている水のうち、約75%は県から水を買って配っています。



※令和6年10月に県の水が値上がりしました。
令和8年4月にも値上がりすることになっています。

使い道って このままでいいの？

施設更新費

地震に強い施設や水道管を更に増やすため、今後は増加していく予定です。

維持管理費

古くなった水道管が増えており、漏水している水道管を修理する費用が増加しています。その他も物価上昇の影響があり、全体的に増加傾向です。

受水費

県から買う水が値上がりするため、増加していく見込みです。市で水をつくる施設の維持も含めて、配る水のありかたを検討していきます。

今後も安全で安心な水をいつまでもお届けすることができるよう、健全な経営につとめていきます。

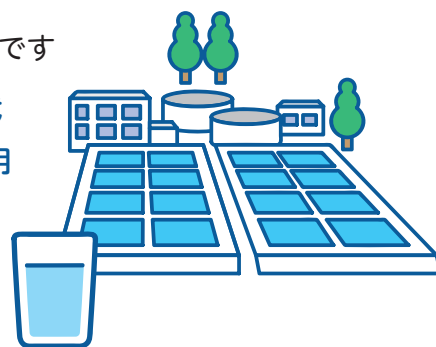
維持管理費ってなに？

蛇口から24時間水が出るようにするために、大きく分けて4つの部門に分かれています。

水をつくる部門

浄水場で水道水をつくるための費用です

- ◆ 水をつくるための電気代や薬品代
- ◆ 24時間浄水場を見守るための費用など



お客様対応部門

水道の開始・停止や、水道代の料金を請求するための費用です

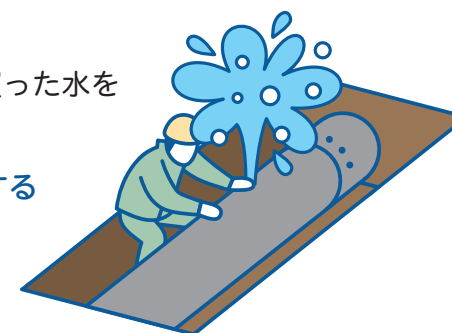
- ◆ 問い合わせ窓口やメーター検針のための費用
- ◆ 水道料金請求のための郵送代や手数料など



水を配る部門

浄水場でつくった水や県から買った水を届けるための費用です

- ◆ 漏水している水道管を修理するための費用
- ◆ 水を送るための電気代など



経営管理部門

水道事業全体に関係する費用です

- ◆ 経理システムなどのシステム費用
- ◆ 事務所の負担金や水道広報にかかる費用など



下水道のはなし

みなさまからいただいた下水道使用料は、汚水をきれいにするための費用に使われています。今回は、家庭から下水道を通して、浄化センターできれいな水になるまでについてお伝えします。

下水道の役割

街をきれいにする

トイレの水洗化と生活排水の処理

きれいな水辺をつくる

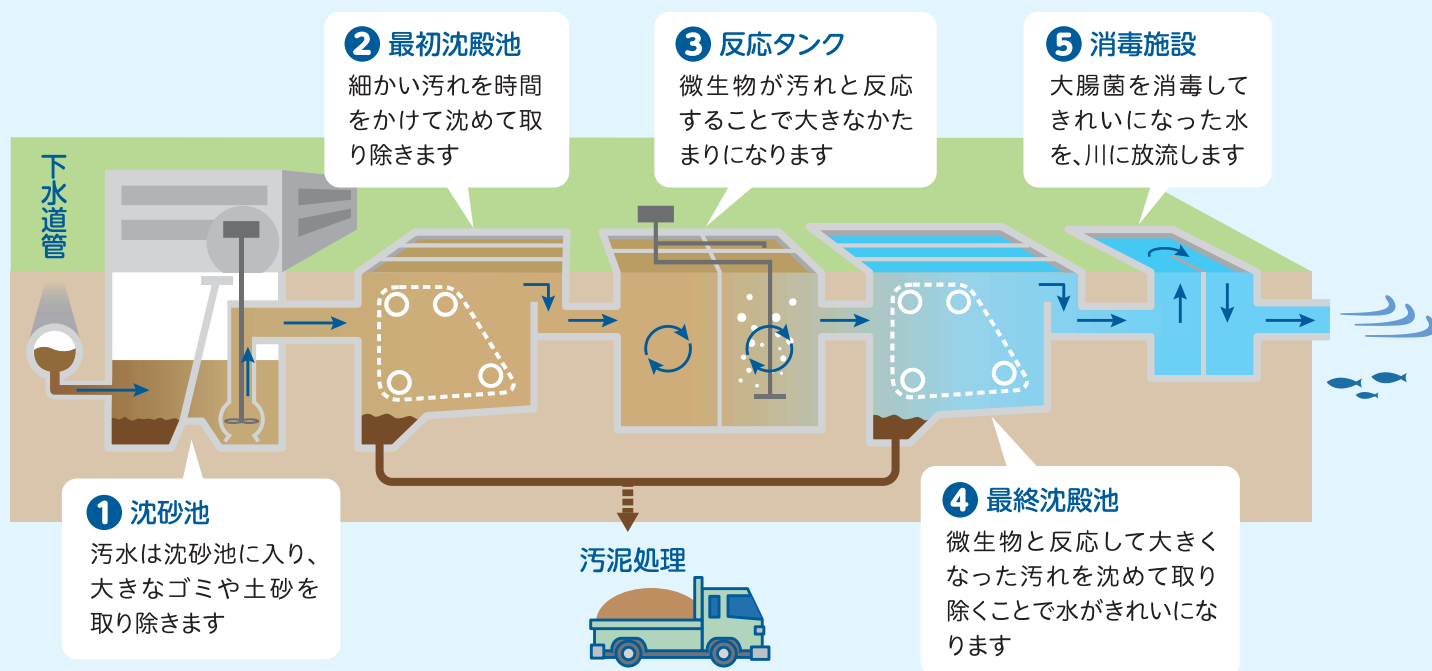
循環型社会を形成する

浄化センターの仕組み

瀬戸市には、約480kmの下水道管が埋まっています。

家庭からでた汚水(トイレ、キッチン、お風呂等からの排水)は、街中に埋まっている下水道管を通して、浄化センターへ運ばれ、きれいな水に処理してから川に放流します。

瀬戸市では、瀬戸川・矢田川沿いの西部処理区では西部浄化センター(西原町2丁目)、水野川沿いの水野処理区では水野浄化センター(内田町1丁目)で汚水の処理をしています。



◆水をきれいにする働き者

反応タンクにいる微生物にとって、水に含まれる汚れは栄養となります。微生物が栄養を摂取することで水をきれいにしてくれます。

◆処理した水は安全です

下水道できれいになった水は、生態系への安全が確認されています。

◆沈めて取り除いた汚れはリサイクル

沈めて取り除いた汚れ(汚泥)は、セメントや肥料の原料としてリサイクルしています。

下水道を利用する際のポイント

家庭内の排水管の破損・詰まりの原因となるものや、浄化センターの処理能力を低下させるものは、流さないでください。

※修繕費用をご負担いただく場合もあります。

- ◆ 台所のシンクに、野菜くずや残飯、油類などを流さない
- ◆ 水洗トイレにトイレットペーパー以外の紙や紙おむつ、たばこ、ガムなどを流さない
- ◆ マンホールに土砂や廃油、木片などを捨てない
- ◆ ガソリンやアルコール類など危険物を流さない